

事務事業名		地域担当職員制度実施事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり				担当組織	担当部	行政経営部	担当課	市民活動促進課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり				担当係	地域支援係	担当課長名	中村 正江	
	施策	1 市民と協働した地域づくりの推進				新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	3 地域自治組織の確立				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成27年度～		根拠法令 条例等	佐野市地域担当職員制度 実施要綱		実施方法		直営
						リーディングプロジェクト		その他市民に対する事業		該当なし
						市長マニフェスト		5-3		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)					
市内167町会を20地域(地区町会長協議会の20地区)に分け、各地域に地域担当職員を2名ずつ配置する。 ○地域担当職員活動内容 ・各地域で開催する会議、イベント等に出席する。 ・地域住民の公益的な活動に役立つ情報を提供する。 ・地域の課題や地域づくりについて話し合いを行う。 ・地域の要望等について担当課へ連絡し調整する。 ・地域担当職員会議に出席し、地域の状況について報告・情報交換を行う。		地域担当職員制度説明会 1回 各地域で開催する会議、イベント等への参加 50回 地域担当職員会議 2回					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
地区町会長協議会会議、事業への地域担当職員の参加回数		回			50	50	50

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

・地区町会長協議会の地域(20地区) ・全市民		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
		地区町会長協議会の地域数	地区		20	20	20	20
		市人口	人		122,582	121,522	120,683	120,683

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

地域活動の活性化		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
		地区町会長協議会会議、事業への地域担当職員の参加回数	回			50	50	50

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

それぞれの地域自治組織が活発に活動している。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
		町会加入世帯数/全世帯数	%		87.8	87.5	88.0	88.0
		市民活動モデル町会応募町会数	町会		5	5	9	10

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円				45				
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円				46	296			
	事業費計(A)	千円	0	0	0	91	296			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
							普通旅費	10	普通旅費	191
							消耗品費	5	消耗品費	5
						燃料費	14	負担金	100	
						有料道路通行料等	22			
				負担金	40					
人件費	人			42	42	42				
のべ業務時間	時間			340	310	310				
人件費計(B)	千円	0	0	1,324	1,207	1,207				
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	1,324	1,298	1,503				

事務事業名	地域担当職員制度実施事業	担当部	行政経営部	担当課	市民活動促進課	担当係	地域支援係
-------	--------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成26年3月策定の佐野市市民活動計画第2期計画の基本目標に地域自治組織の確立を掲げた。目標達成のために、市民と協働して地域の活性化を図ることが必要であり、その方策を検討した結果、平成27年4月から地域と行政の連絡調整役を担う地域担当職員制度を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	人口減少、少子高齢化、ライフスタイルの多様化等の様々な変化が生まれ、行政では対応しきれなくなっている。地域と協働して対応していく必要がある。地域の特性に応じたまちづくりを実現するためには、地域住民と行政が協働してまちづくりを担っていく必要がある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	地区協議会の開催する会議や防災訓練等において地域担当職員の参加依頼等があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	地域活動の活性化を支援することは、協働のまちづくりの推進となり、地域自治組織の確立につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	地域と行政との協働推進を目的としているため、他団体へ委ねることは適切でない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市全域を20地域に分けることにより、地域性に沿った地域活動の活性化支援を行える。また、地区町会長協議会20地区の既存の枠組みを活用することにより地域住民にとって分かりやすくスムーズな事務事業展開を行えると考えたため。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	当事業を展開することにより町会活動(地域活動)を活性化することができると考えている。町会が活性化し魅力的になれば、地域住民の町会活動への参加・行政との協働に前向きになり、地域と行政が連携して事業展開を行っていくことが考えられるため。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	今年度は事業費を計上していないが、今年度スタートした事業であり今後制度を充実させたいと考えているので削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	住民全体が対象であり、特定の受益者がいないため受益者負担を求めない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
現在の地区町会長協議会の各地域の自治組織が確立し、それぞれの地域が活性化し、地域と市との協働の連携が自主的に図れるようになった場合、この事業は廃止できる。				

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 地域との連絡・調整役として、知識の向上を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">42 ##</td> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>成果維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	42 ##	向上			○	成果維持			×	低下	×	×	×	地域担当職員として必要な知識の習得や能力の向上を図るために、先進地の視察等行う。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
42 ##	向上			○																					
	成果維持			×																					
	低下	×	×	×																					